



沖縄県地球温暖化防止活動推進員 NEWSLETTER

脱炭素社会の実現に向け、県内各地で活動中

沖縄県地球温暖化防止活動推進員の直近の主な活動を抜粋してご紹介します。

推進員に出前講座等をお願いしたい場合は、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターまでご連絡ください（連絡先は裏面のお問い合わせをご確認ください。）

活動事例1 脱炭素で住む人も幸せなエコアパート（ZEH住宅）の建築

推進員：守谷 光弘さん



「エコ」で、「住む人の顔が見え」、「親しく過ごせるコミュニティアパート」を建築し、自らも居住しながら、賃貸物件として提供しています。この建物は、赤瓦とアマハジ（沖縄特有の大きな庇（ひさし））による沖縄らしい外観に加え、適温に保つための断熱材、災害時に活躍する太陽光発電と蓄電池などの設備を備えています。

「住まいの選択」は、脱炭素社会を実現する上で大切なアクションであり、全国と比較して賃貸物件に住む方が多い沖縄から、地球とお財布に優しいエコアパート（ZEH住宅）の情報発信をしています。

特徴1 外観は琉球の古民家、
アマハジで太陽からの熱を防ぐ



特徴2 太陽光発電と蓄電池で、
エコだけでなく停電時も安心



特徴3 建物の構造を工夫し、
エコなのにとっても快適



ZEHとは

net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略語で、断熱化や省エネ設備の導入などで使うエネルギーを減らしながら、太陽光発電などでエネルギーをつくり出し、年間で消費する住宅のエネルギー収支をおおむねゼロ以下にする住宅のことです。

建築物の省エネ性能表記について

2023年8月現在、国において、建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度の検討が行われています。

表示制度がルール化されることで、住宅を買ったり、アパートを借りるときに、省エネ性能が高い建物を選びやすくなることが期待されます。

〇再生エネルギー設備が設置されている場合のイメージ



図 検討されているラベルのイメージ
出展：国土交通省HP

活動事例2 エネルギー体験講座で伝える脱炭素対策

推進員：清水 洋一さん



太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーを増やすため、「エネルギー体験講座（出前授業）」を県内の小中学生などを対象に展開しています。

講座の中では、火力発電所の仕組みを説明するための自作発電キットに加え、参加者自らが作成する風力発電キットを用いた発電体験を通じて、火力発電と風力発電の特徴を学びに繋がっています。

また、自転車発電機や手回し発電機を用いた白熱電球とLED電球の比較点灯体験を行い、それぞれが使うエネルギーを実感することで、省エネ家電の見える化を図っています。

これらの体験を通して、エネルギーに関する知識を学ぶだけでなく、製品やサービスの選択の大切さ、地球環境保全のためにできることは何かを伝えています。



LED電球点灯

◀自転車発電機での発電体験
(白熱電球とLED電球の点灯体験)



運動」の愛称が「デコ活」に決定しました。

「デコ活」は、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と「活動・生活」を組み合わせた新しい言葉です。

ぜひ、皆さんもデコ活宣言をして、日々のデコ活に取り組んでみませんか？

デコ活webサイト <https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>



「デコ活」とは

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民

その他の推進員活動

2022年度活動報告書では、防災をキーワードに地域で地球温暖化に関する研修会等を開催したり、推進員活動に必要な知識を学ぶため環境に関連する勉強会等へ参加していることなどが報告されました。

センターでは、脱炭素化に向けた取組に関するご相談や、推進員の紹介なども行っておりますので、「何をしたらよいかわからない」とお悩みの方は、是非、センターまでお問い合わせください。

